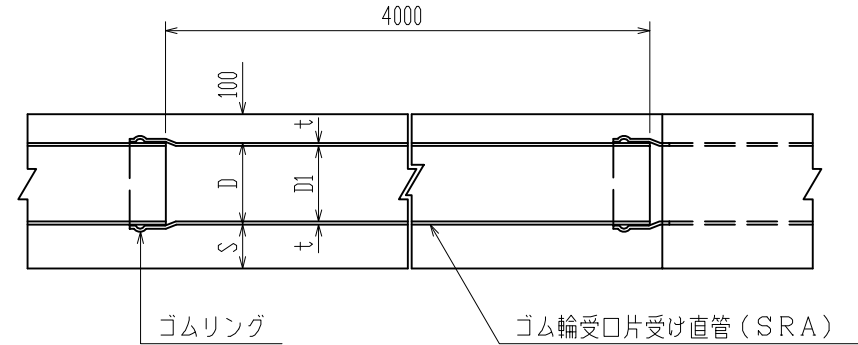
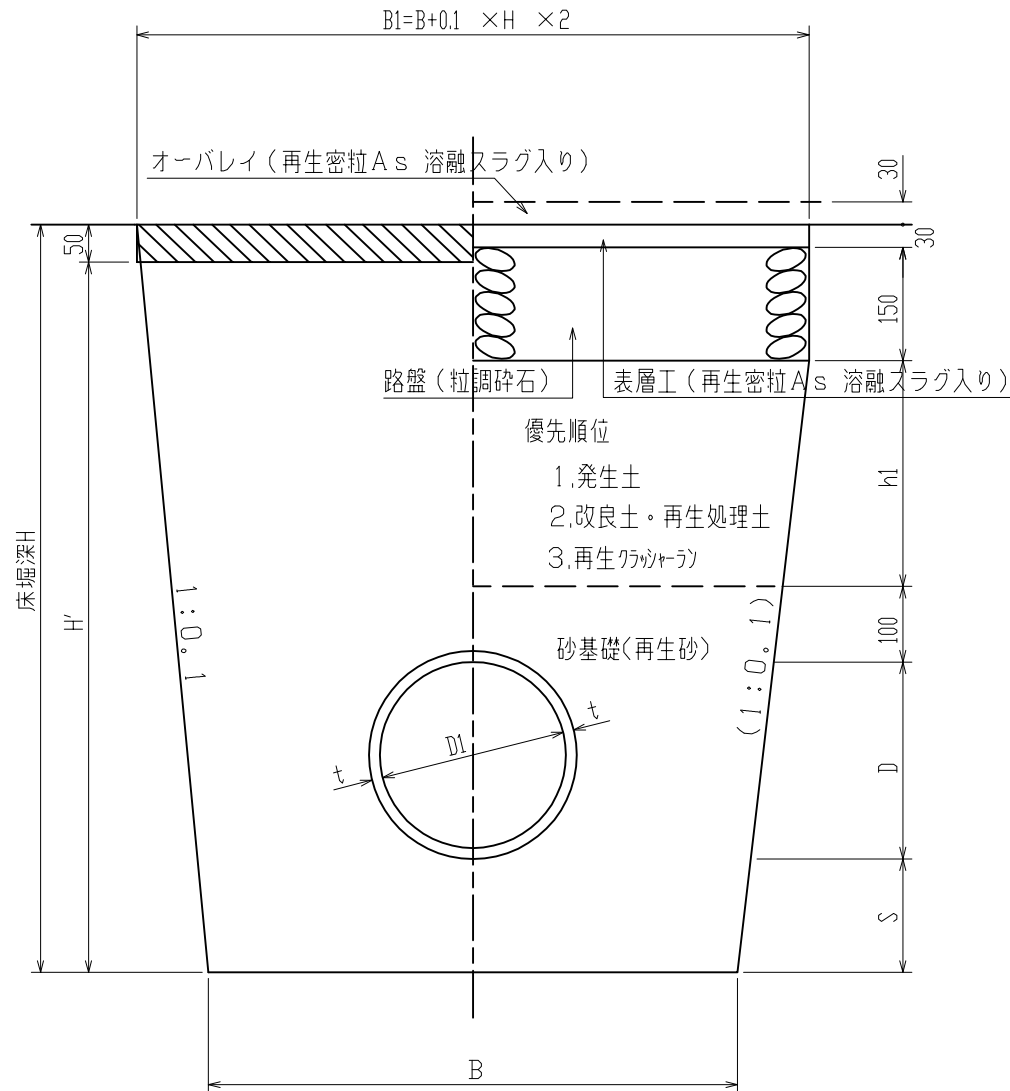


硬質塩化ビニル管布設標準断面図 (素掘)

断面図 S=1/10

側面図 S=1/25



管寸法等

(JSWAS K-1)

	(mm)				
	D1	t	D	S	備考
φ150	150	5.1	165	100	
φ200	200	6.5	216	100	
φ250	250	7.8	267	100	

掘削幅B

	(mm)
	B
φ150	620
φ200	670
φ250	720

注1) 舗装取壊し、復旧は別途計上する。

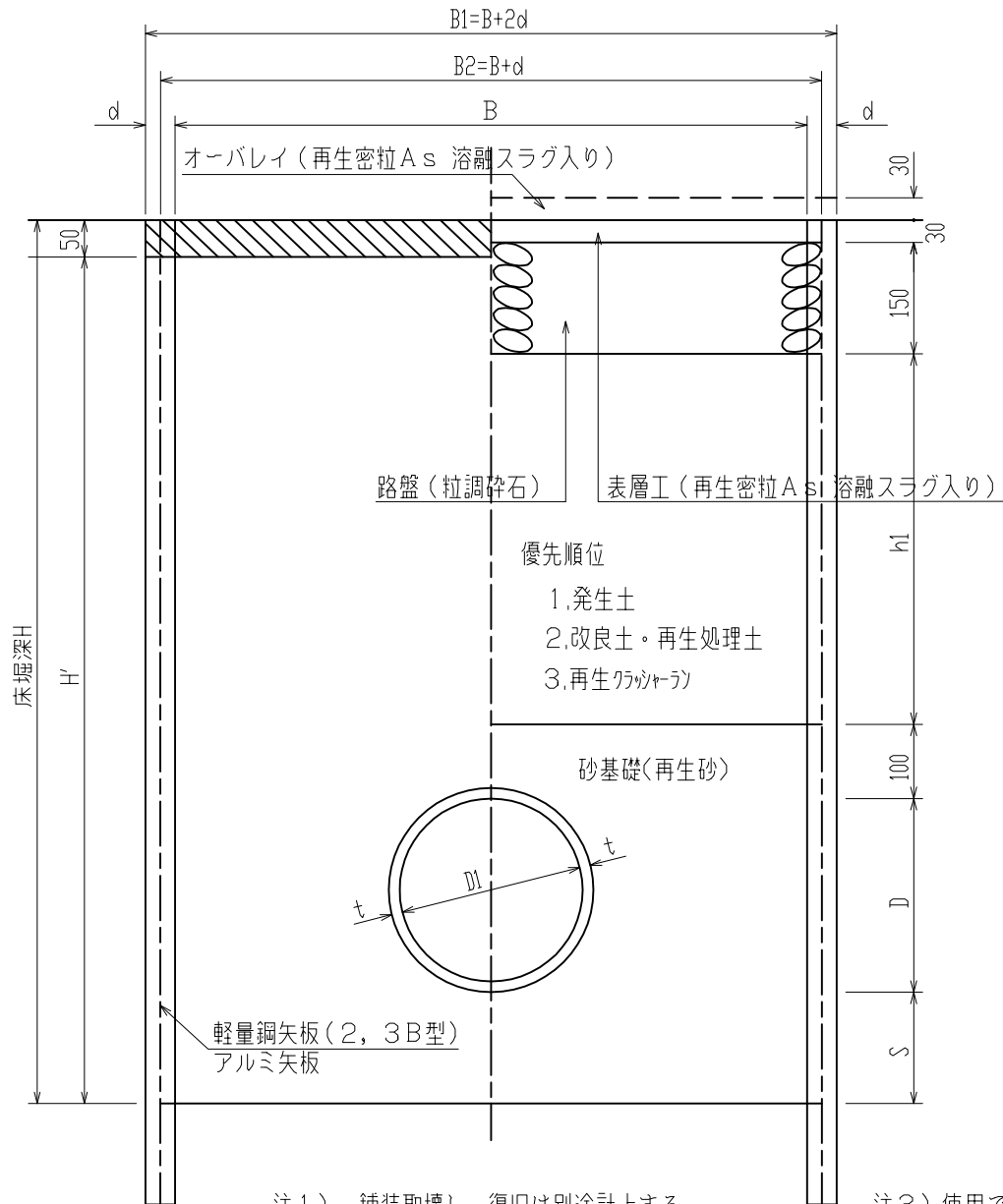
注2) 掘削幅Bは管外径により異なる(右表参照)

注3) 使用できる発生土は、発生土利用基準(国土交通省)による、
第1種・第2種建設発生土相当のものとする。

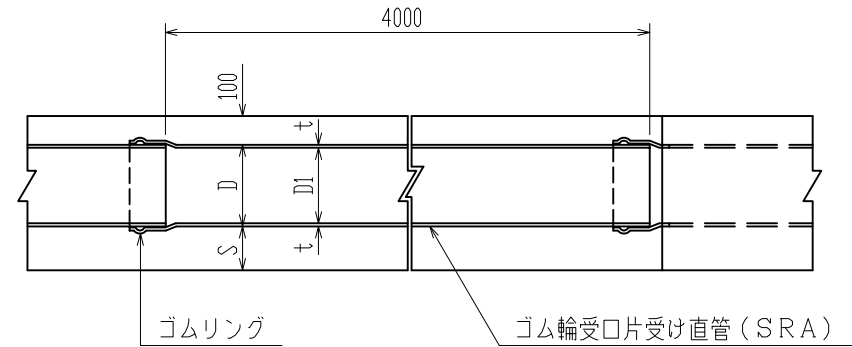
整理番号	1-1-010
作成年月日	2015, 02, 01

硬質塩化ビニル管布設標準断面図

断面図 S=1/10



側面図 S=1/25



管寸法等

(JSWAS K-1)

(単位: mm)

	D1	t	D	S	備考
φ150	150	5.1	165	100	
φ200	200	6.5	216	100	
φ250	250	7.8	267	100	
φ300	300	9.2	318	100	

矢板寸法

(単位: mm)

	d	備考
LSP-2型	36	
LSP-3B型	74	
アルミ矢板	-	有効幅333mm, 主要メーカーはd=36~40

B

(mm)

	B
φ150	820
φ200	820
φ250	870
φ300	920

注1) 舗装取壊し、復旧は別途計上する。
注2) Bは管外径により異なる(右表参照)

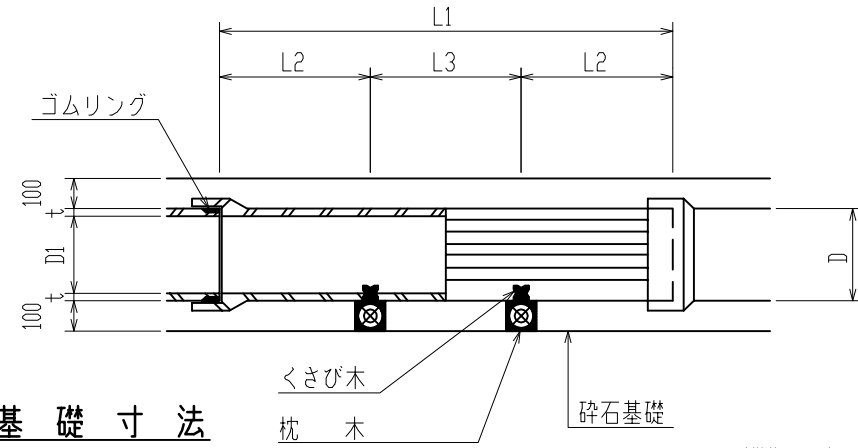
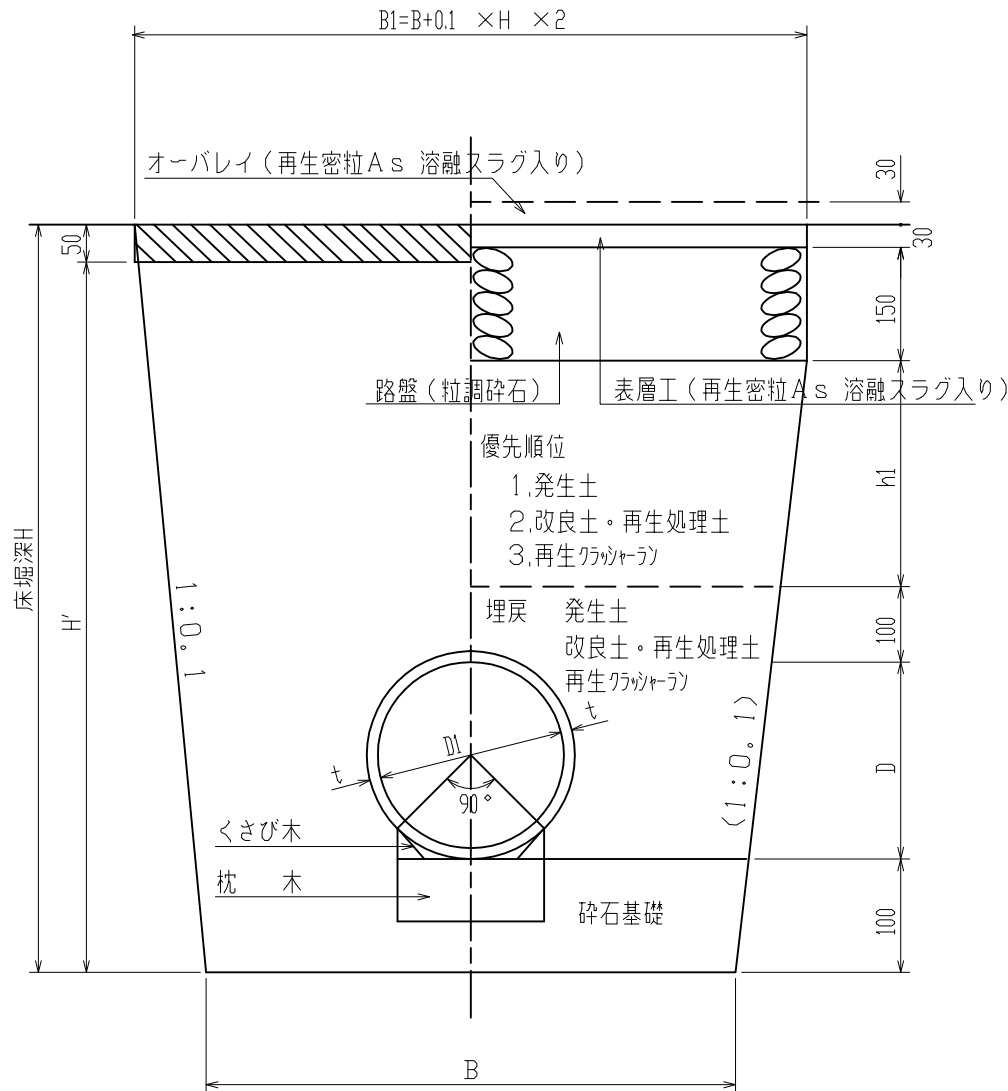
注3) 使用できる発生土は、発生土利用基準(国土交通省)による、第1種・第2種建設発生土相当のものとする。

整理番号	1-1-020
作成年月日	2015, 02, 01

レジンコンクリート管布設標準断面図 (素掘)

断面図 s=1/10

側面図 s=1/25



基礎寸法

(単位: mm)

	L1	L2	L3	くさび木	枕木	備考
φ150	2000	300	1400	45×45×100	90×90×200	
φ200	2000	300	1400	45×45×100	90×90×200	
φ250	2000	300	1400	45×45×100	90×90×200	

管寸法

(JSWAS K-11)

(単位: mm)

	D1	t	D	備考
φ150	150	15	180	
φ200	200	15	230	
φ250	250	17	284	

掘削幅B

(mm)

	B
φ150	630
φ200	680
φ250	730

注1) 舗装取壊し、復旧は別途計上する。
注2) 掘削幅Bは管外径により異なる(右表参照)

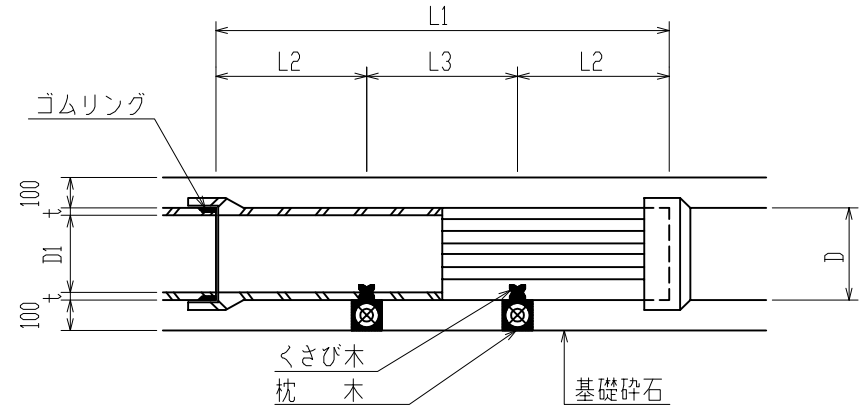
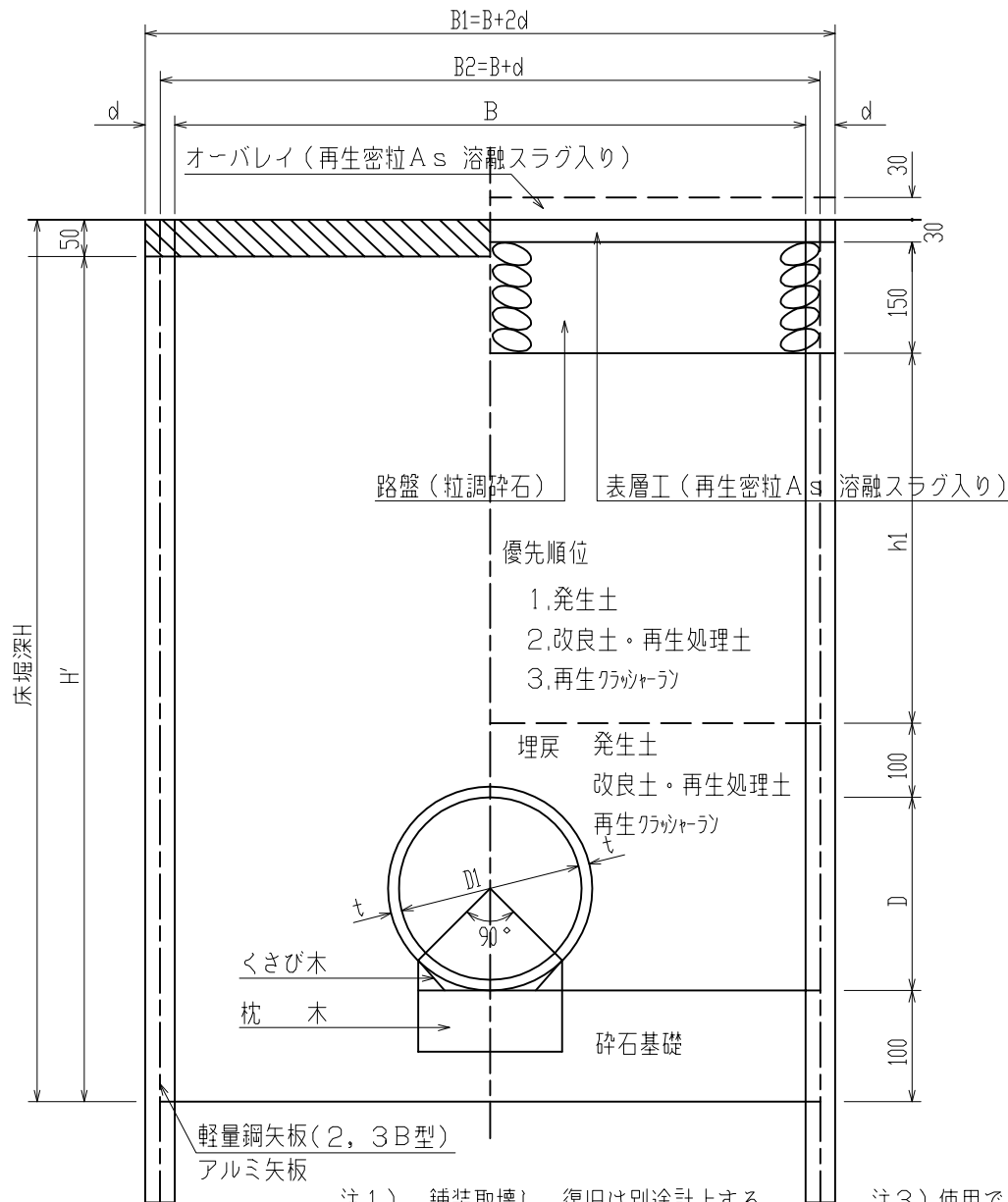
注3) 使用できる発生土は、発生土利用基準(国土交通省)による、第1種・第2種建設発生土相当のものとする。

整理番号	1-1-030
作成年月日	2015, 02, 01

レジンコンクリート管布設標準断面図

断面図 s=1/10

側面図 s=1/25



基礎寸法

(単位: mm)

	L1	L2	L3	くさび木	枕木	備考
φ150	2000	300	1400	45×45×100	90×90×200	
φ200	2000	300	1400	45×45×100	90×90×200	
φ250	2000	300	1400	45×45×100	90×90×200	
φ300	2000	300	1400	60×60×100	90×90×300	

管寸法

(JSWAS K-11)

(単位: mm)

	D1	t	D	備考
φ150	150	15	180	
φ200	200	15	230	
φ250	250	17	284	
φ300	300	19	338	

(mm)

	B
φ150	820
φ200	830
φ250	880
φ300	940

矢板寸法

(単位: mm)

	d	備考
LSP-2型	36	
LSP-3B型	74	
アルミ矢板	-	有効幅333mm、主要メーカーはd=36~40

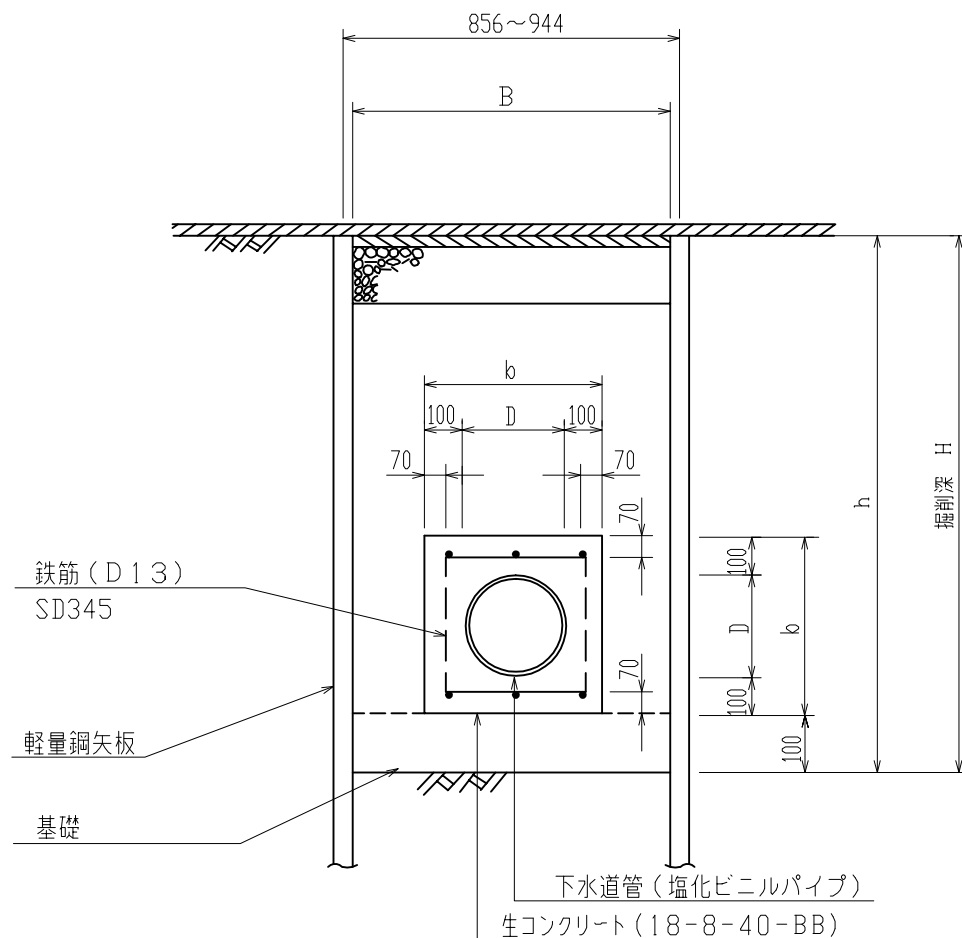
注1) 舗装取壊し、復旧は別途計上する。
注2) Bは管外径により異なる(右表参照)

注3) 使用できる発生土は、発生土利用基準(国土交通省)による、第1種・第2種建設発生土相当のものとする。

整理番号	1-1-040
作成年月日	2015, 02, 01

下水道管防護工標準図

管防護工標準断面図



注) Bは管外径により異なる (右表参照)

寸法表

(単位: mm)

管径	D	b	備考
φ150	170	370	
φ200	220	420	
φ250	270	470	

材料表

10m当り

管径	幅 (mm)	高さ (mm)	コンクリート量 (m ³)	型枠 (m ²)	鉄筋工			備考
					縦筋	横筋	量 (kg)	
150	370	370	1.16	7.4	10×6	0.23×50 1.01×50	121	
200	420	420	1.40	8.4	10×6	0.28×50 1.16×50	131	
250	470	470	1.65	9.4	10×6	0.33×50 1.31×50	141	

注1) 配筋については国土交通省制定土木構造物標準設計 (管きょ: 360°固定基礎) の考え方に準じる。

注2) 河川管理者・道路管理者等との協議とする。

B

(mm)

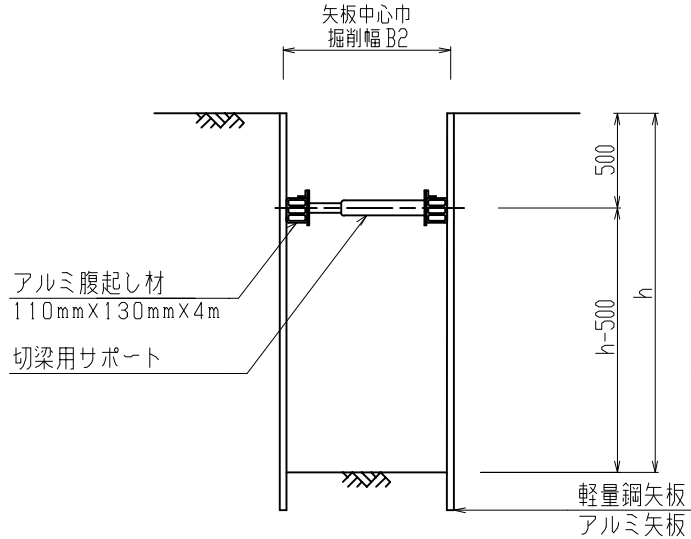
	B
φ150	820
φ200	820
φ250	870

整理番号	1-1-050
作成年月日	2012, 11, 01

軽量鋼矢板・アルミ矢板建込工標準図

1 段切梁

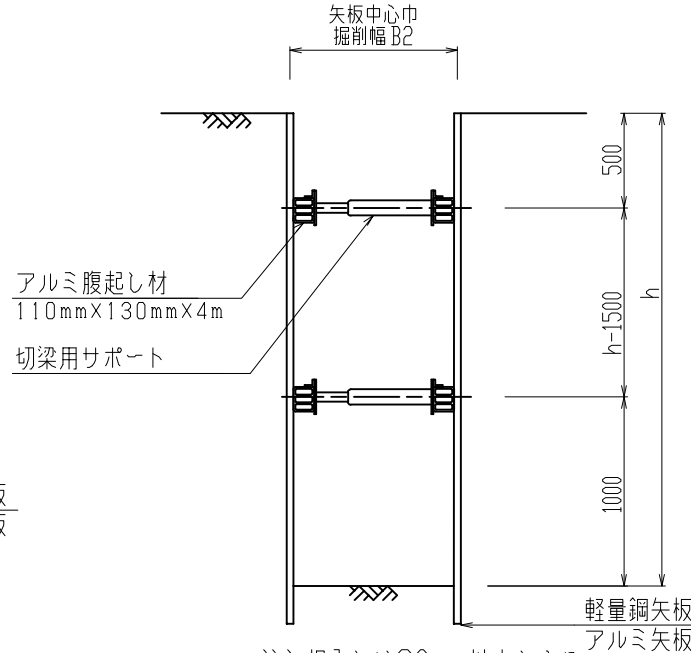
($1.50\text{m} < h \leq 2.0\text{m}$)



注) 根入れは20cm以上とする

2 段切梁

($2.00\text{m} < h \leq 2.80\text{m}$)



注) 根入れは20cm以上とする

1段切梁

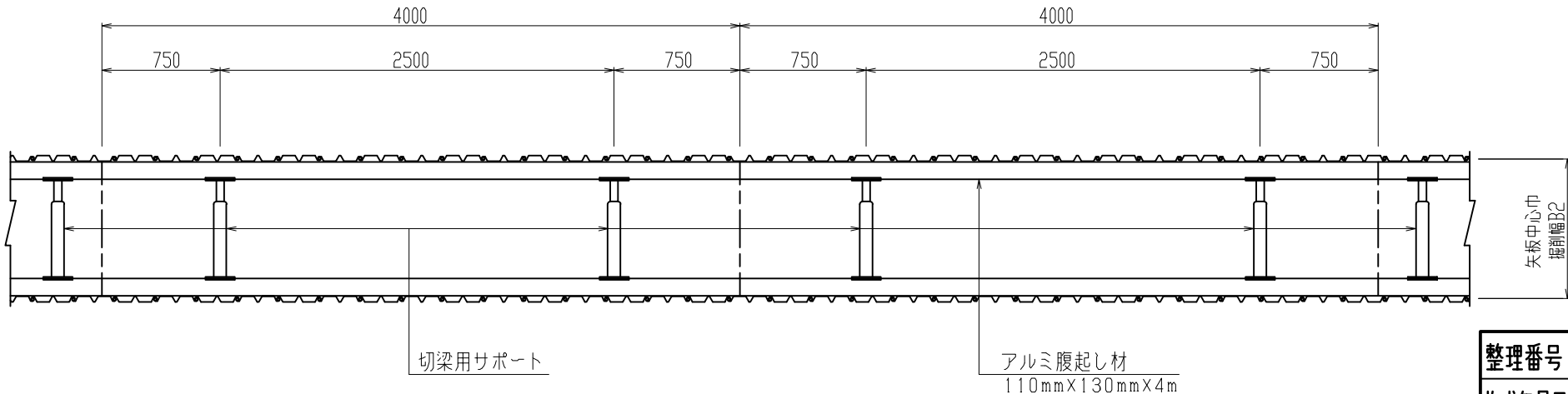
掘削深 (h)	矢板型式	矢板長	備考
$1.50\text{m} < h \leq 1.80\text{m}$	LSP-2型(t=5mm)	2.0m	アルミ矢板の場合、有効幅は333mm
$1.80\text{m} < h \leq 2.00\text{m}$	LSP-2型(t=5mm)	2.5m	

2段切梁

掘削深 (h)	矢板型式	矢板長	備考
$2.00\text{m} < h \leq 2.30\text{m}$	LSP-2型(t=5mm)	2.5m	アルミ矢板の場合、有効幅は333mm
$2.30\text{m} < h \leq 2.80\text{m}$	LSP-2型(t=5mm)	3.0m	

注1) 適応範囲については、土留工(開削工)設計要領 平成12年度10月版参照。
注2) 掘削幅は、標準断面図を参照。

土留工平面図

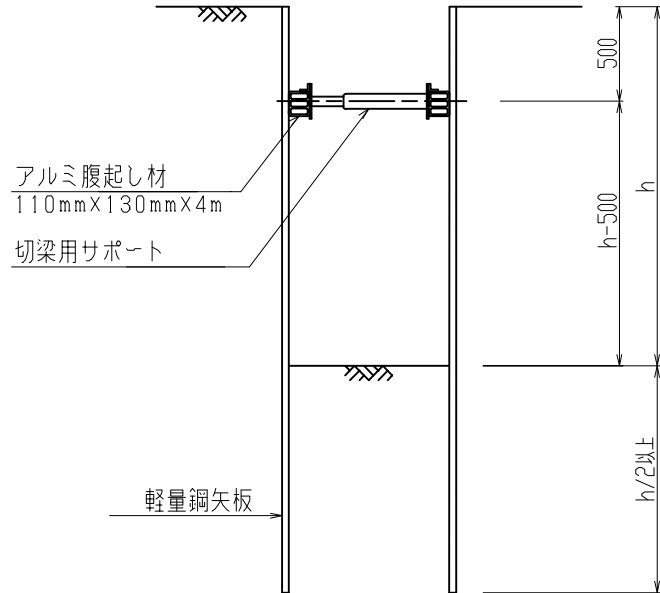


整理番号	1-1-071
作成年月日	2015, 02, 01

軽量鋼矢板工標準図

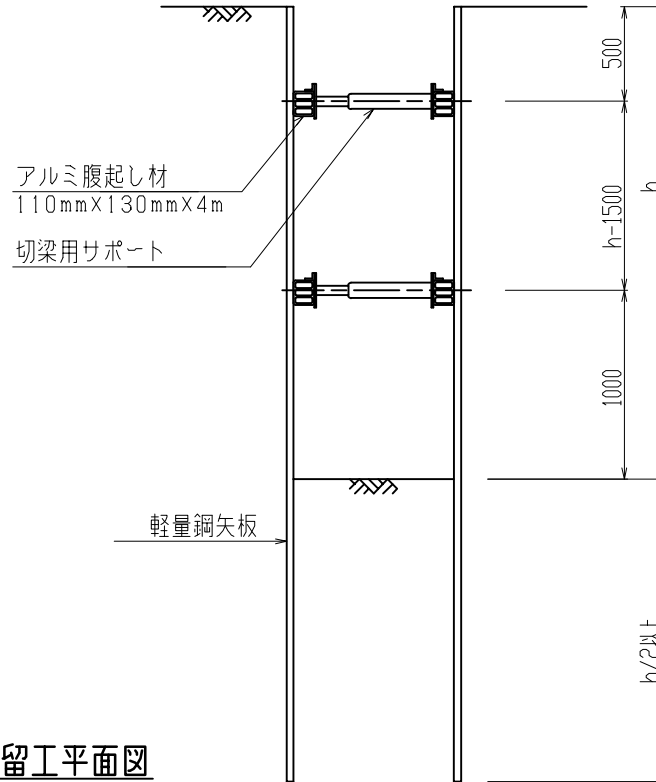
1 段切梁 ($1.50\text{m} < h \leq 2.0\text{m}$)

矢板中心巾
掘削幅 B2 (LSP-2)



2 段切梁 ($2.00\text{m} < h \leq 2.80\text{m}$)

掘削幅 B2
(LSP-2, LSP-3B)



注1) 矢板形式はLSP-2型($t=5\text{mm}$)
又はLSP-3B型($t=5\text{mm}$)とし、
形式は計算により決定すること。

注2) 根入れ長は掘削深の1/2以上確保
すること。

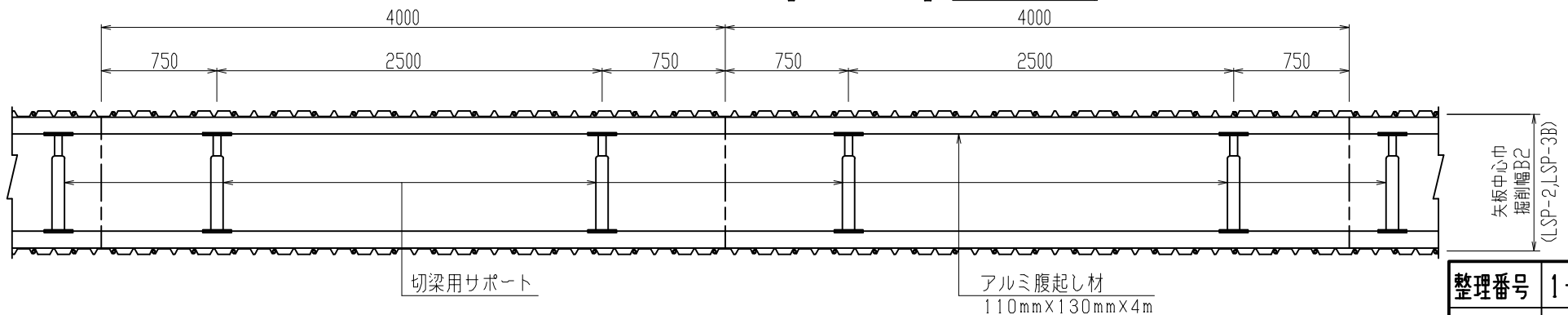
注3) 余掘りは30cmとする。

注4) 支保材の設置間隔は左記図面を標準
とするが、支保材の構造計算結果に
より支保材の設置間隔は調整するこ
と。

注5) 矢板規格の適応掘削範囲については、
土留工(開削工)設計要領平成12年
10月版のP.27を参照。

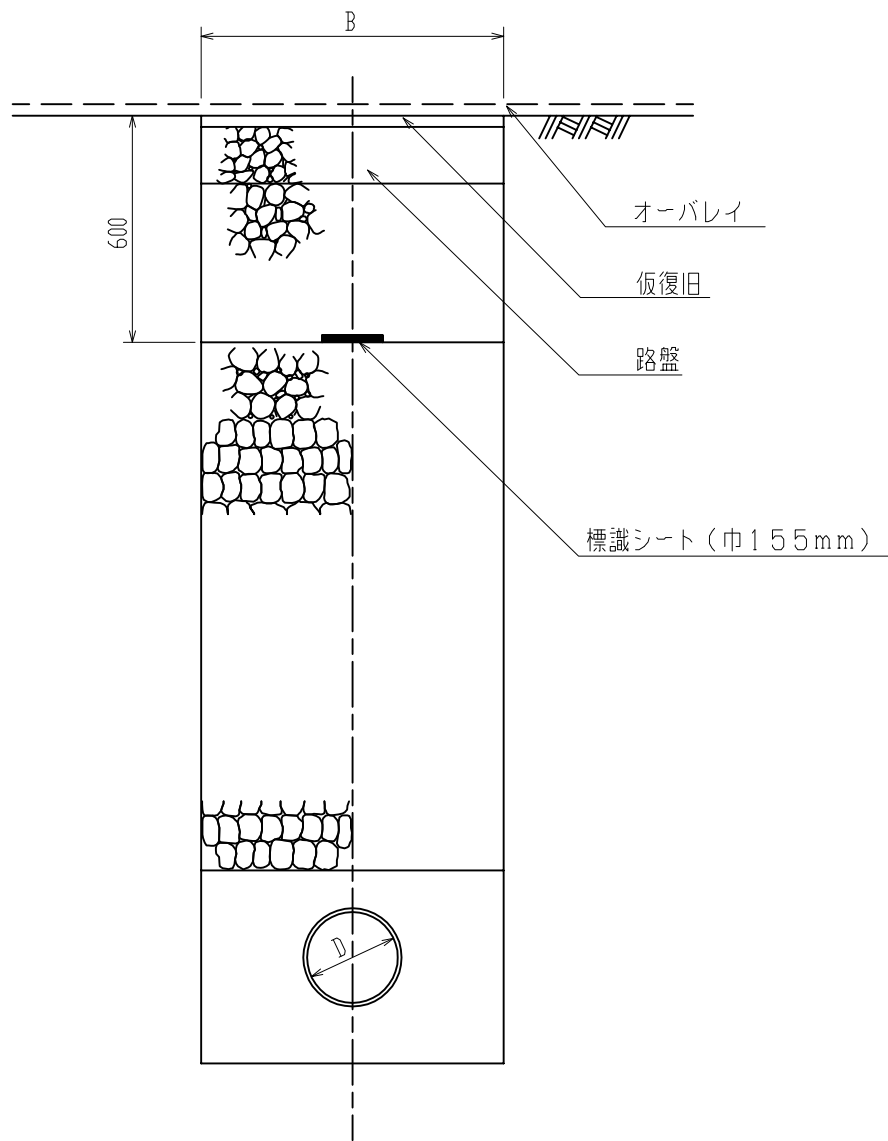
注6) 掘削幅は、標準断面図を参照。

土留工平面図



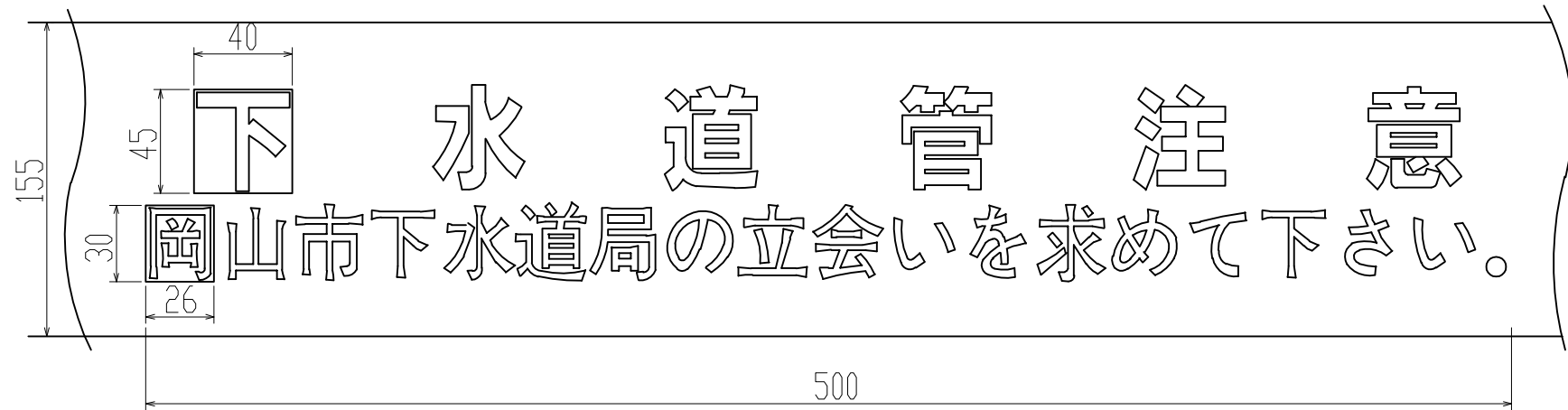
整理番号	1-1-072
作成年月日	2012, 11, 01

標識シート埋設図



整理番号	1-1-080
作成年月日	2007, 08, 10

下水道標識シート



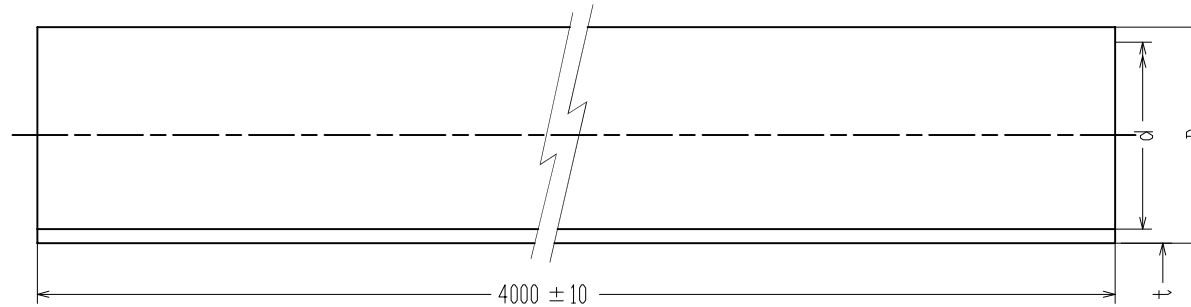
備考

- 1 寸法単位はm/mとする。
- 2 折込率は、2倍とする。
- 3 文字は、白色、地色は茶色とする。
- 4 シート幅は、150~160m/mとする。
- 5 定尺は、50mとする。
- 6 折込方法は、熱溶着止めとする。

整理番号	1-1-081
作成年日	2009, 04, 01

下水道用硬質塩化ビニル製
プレーンエンド直管
(JSWAS K-1)

略号 PE
配管記号 



単位：mm

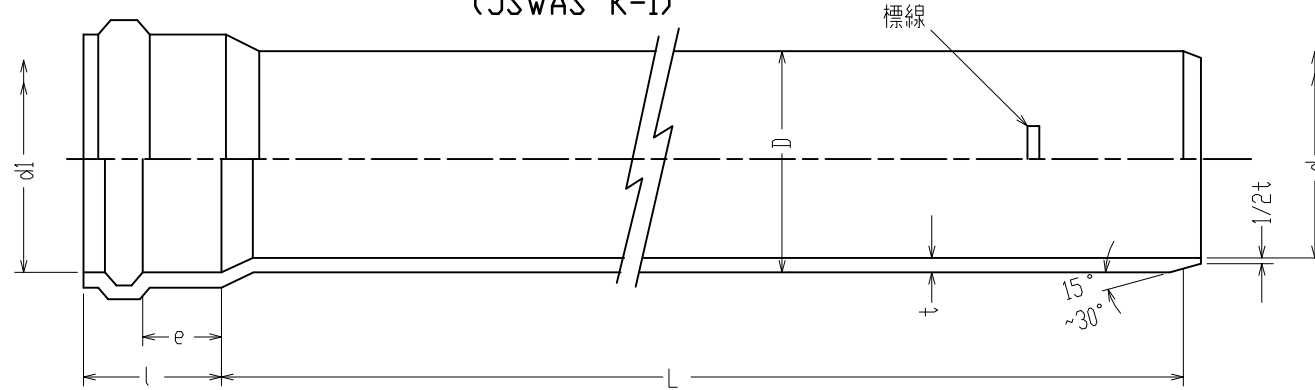
呼び径	外径 D		厚さ t		参考	
	基本寸法	平均外径の許容差	最小	許容差	内径 d	1m当りの質量(kg)
100	114.0	±0.4	3.1	+0.8	107.0	1.737
125	140.0	±0.5	4.1	+0.8	131.0	2.739
150	165.0	±0.5	5.1	+0.8	154.0	3.941
200	216.0	±0.7	6.5	+1.0	202.0	6.572
250	267.0	±0.9	7.8	+1.2	250.2	9.758
300	318.0	±1.0	9.2	+1.4	298.2	13.701
350	370.0	±1.2	10.5	+1.4	347.6	18.051
400	420.0	±1.3	11.8	+1.6	394.8	23.059
450	470.0	±1.5	13.2	+1.8	441.8	28.875
500	520.0	±1.6	14.6	+2.0	488.8	35.346
600	630.0	±3.2	17.8	+2.8	591.6	52.679

- 注) 1. 本規格は JIS K 6741 (硬質塩化ビニル管) の VU と同一である。
 2. 平均外径の許容差とは、任意断面における直角2方向以上の外径測定値の平均値(平均外径)と基準寸法との差をいう。
 3. 表中1m当りの質量は、密度1.43g/cm³で算出したものである。
 4. 内径は、管の厚さを t (最小) + 許容差 / 2 として算出したものである。

整理番号	1-1-500
作成年月日	2009, 04, 01

下水道用硬質塩化ビニル製
 ゴム輪受口片受け直管
 (本管形)
 (JSWAS K-1)

略号 **SRA**
 配管記号



SRA寸法表

単位：mm

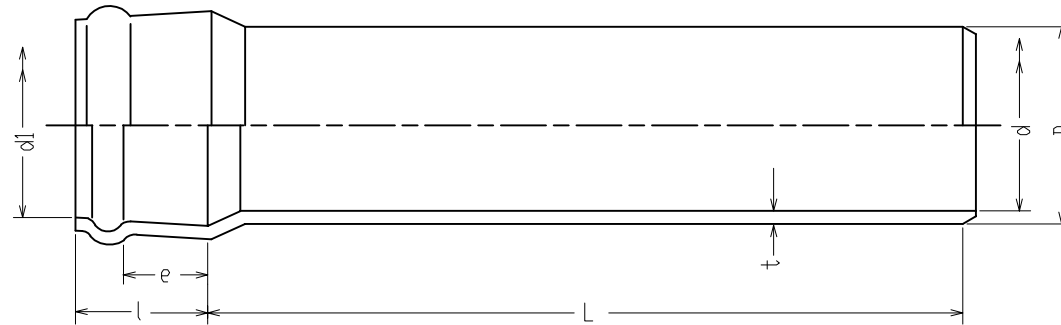
呼び径	D	d (参考値)	d1 (最小値)	l (最大値)	e (最小値)	t	L
100	114±0.4	107	114.5	145	42	3.1+0.8	4000±15
150	165±0.5	154	165.7	165	53	5.1+0.8	4000±15
200	216±0.7	202	216.9	185	54	6.5+1.0	4000±15
250	267±0.9	250	268.1	205	59	7.8+1.2	4000±15
300	318±1.0	298	319.3	225	62	9.2+1.4	4000±15
350	370±1.2	348	371.5	240	67	10.5+1.4	4000±15
400	420±1.3	395	421.7	260	72	11.8+1.6	4000±15
450	470±1.5	442	471.9	285	77	13.2+1.8	4000±15
500	520±1.6	489	522.1	305	82	14.6+2.0	4000±15
600	630±3.2	592	633.8	355	93	17.8+2.8	4000±15

- 注) 1. 使用原管はJIS K 6741 (硬質塩化ビニル管)のVU管である。
 2. 平均外径の許容差とは、任意断面における直角2方向以上の外径測定値の平均値(平均外径)と基準寸法との差をいう。
 3. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状については、規定しない。
 4. 受口径 d₁ は直角2方向の内径測定値の平均値とする。
 5. 管端面取部寸法及び許容差のないものは参考寸法である。
 6. 用途：本管として使用する。

整理番号	1-1-510
作成年月日	2009, 04, 01

下水道用硬質塩化ビニル製
 ゴム輪受口片受け直管
 (取付け管形)
 (JSWAS K-1)

略号 **SRB**
 配管記号 



SRB寸法表

単位：mm

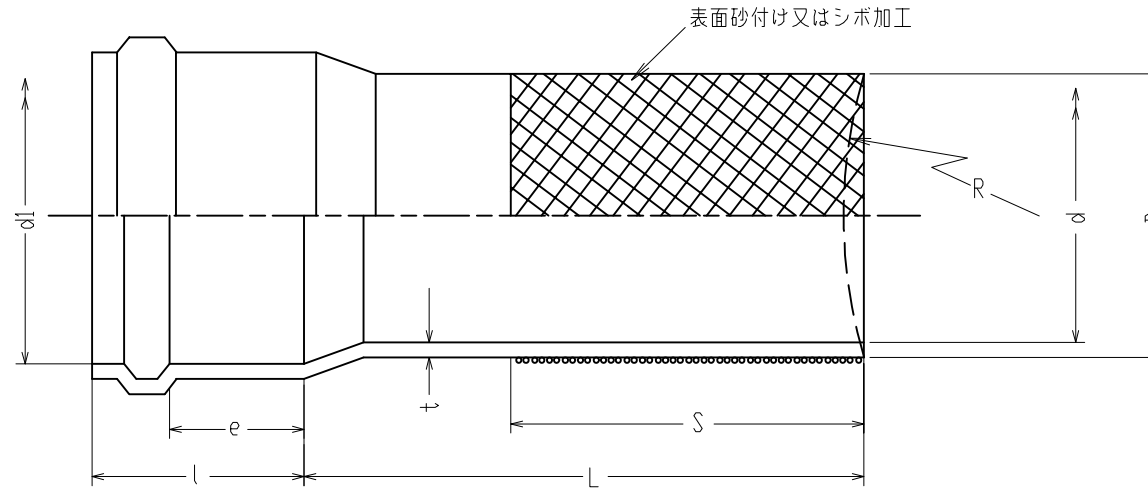
呼び径	D	d (参考値)	d ₁ (最小値)	l (最大値)	e (最小値)	t	L	L
100	114±0.4	107	115.0	90	48	3.1+0.8	800±10	4000±15
125	140±0.5	131	141.0	99	53	4.1+0.8	800±10	4000±15
150	165±0.5	154	166.0	108	58	5.1+0.8	800±10	4000±15
200	216±0.7	202	218.0	126	69	6.5+1.0	800±10	4000±15

- 注) 1. 使用原管はJIS K 6741 (硬質塩化ビニル管) のVU管である。
 2. 平均外径の許容差とは、任意断面における直角2方向以上の外径測定値の平均値(平均外径)と基準寸法との差をいう。
 3. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状については、規定しない。
 4. 受口内径 d₁ は直角2方向の内径測定値の平均値とする。
 5. 許容差のないものは参考寸法である。
 6. 面取りの形状は、規定しない。
 7. 用途：取付け管として使用する。

整理番号	1-1-520
作成年月日	2009, 04, 01

下水道用硬質塩化ビニル製
上流用マンホール継手
(JSWAS K-1)

略号 **MR**
配管記号 



MR寸法表

単位：mm

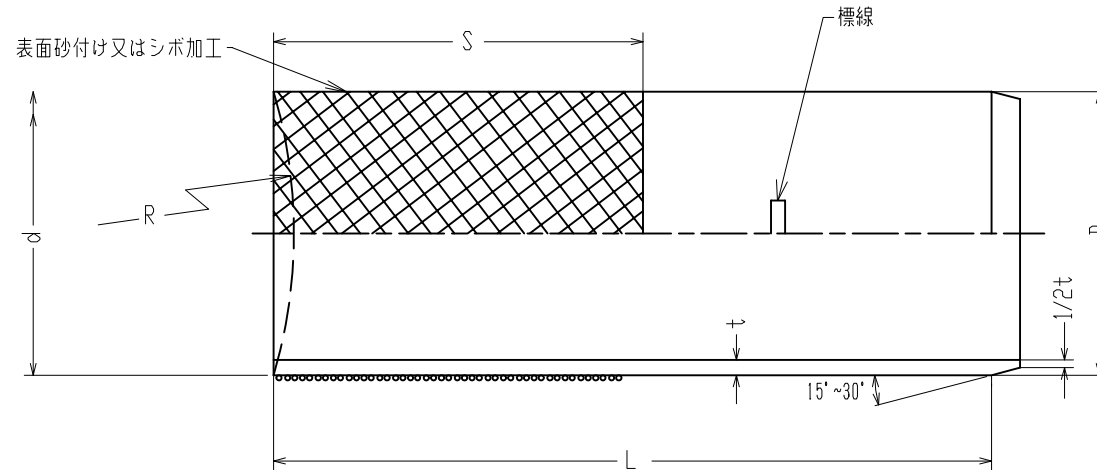
呼び径	D	d (参考値)	d ₁ (最小値)	l (最大値)	S (参考値)	e (最小値)	t	L
100	114±0.4	107	114.5	145	200	42	3.1+0.8	500±15
150	165±0.5	154	165.7	165	200	53	5.1+0.8	500±15
200	216±0.7	202	216.9	185	250	54	6.5+1.0	500±15
250	267±0.9	250	268.1	205	250	59	7.8+1.2	500±15
300	318±1.0	298	319.3	225	250	62	9.2+1.4	500±15
350	370±1.2	348	371.5	240	250	67	10.5+1.4	500±15
400	420±1.3	395	421.7	260	300	72	11.8+1.6	500±15
450	470±1.5	442	471.9	285	300	77	13.2+1.8	500±15
500	520±1.6	489	522.1	305	300	82	14.6+2.0	500±15
600	630±3.2	592	633.8	355	350	93	17.8+2.8	500±15

- 注) 1. 使用原管は JIS K 6741 (硬質塩化ビニル管) の VU 管である。
 2. 平均外径の許容差とは、任意断面における直角 2 方向以上の外径測定値の平均値(平均外径)と基準寸法との差をいう。
 3. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状については、規定しない。ただしゴム輪受口は、本管形とする。
 4. 受口内径 d₁ は直角 2 方向の内径測定値の平均値とする。
 5. 許容差のないものは参考寸法である。
 6. 点線は R 加工する場合のものである。
 7. 用途：マンホール上流側の継手として使用する。(可とう性継手を使用しないとき)
 8. シボ加工とは、プラスチックの表面に水玉模様あるいは梨地等の浅い凸凹を付ける加工をいう。

整理番号	1-1-540
作成年月日	2009, 04, 01

下水道用硬質塩化ビニル製
下流用マンホール継手
(JSWAS K-1)

略号 **MSA**
配管号 **I**



MSA寸法表


単位：mm

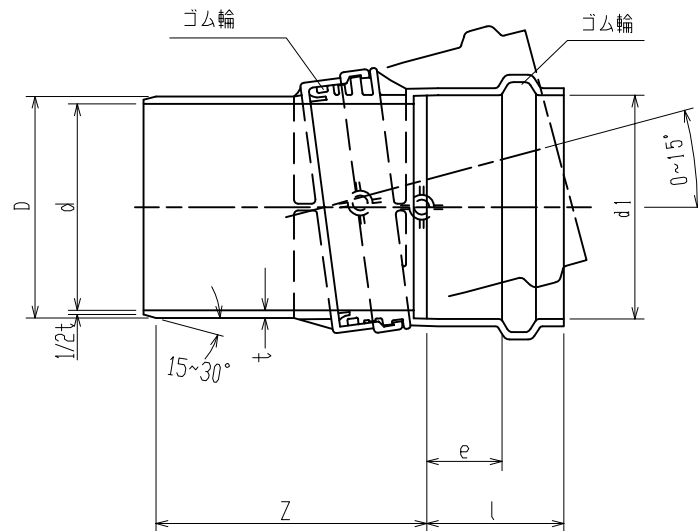
呼び径	D	d (参考値)	S (参考値)	t	L
100	114±0.4	107	200	3.1+0.8	500±15
150	165±0.5	154	200	5.1+0.8	500±15
200	216±0.7	202	250	6.5+1.0	500±15
250	267±0.9	250	250	7.8+1.2	500±15
300	318±1.0	298	250	9.2+1.4	500±15
350	370±1.2	348	250	10.5+1.4	500±15
400	420±1.3	395	300	11.8+1.6	1000±15
450	470±1.5	442	300	13.2+1.8	1000±15
500	520±1.6	489	300	14.6+2.0	1000±15
600	630±3.2	592	350	17.8+2.8	1000±15

- 注) 1. 使用原管はJIS K 6741 (硬質塩化ビニル管) のVU管である。
 2. 平均外径の許容差とは、任意断面における直角2方向以上の外径測定値の平均値(平均外径)と基準寸法との差をいう。
 3. 管端面取部寸法及び許容差のないものは参考寸法である。
 4. 点線はR加工する場合のものである。
 5. 用途：マンホール下流側の継手として使用する。(可とう性継手を使用しないとき)
 6. シボ加工とは、プラスチックの表面に水玉模様あるいは梨地等の浅い凸凹を付ける加工をいう。

整理番号	1-1-550
作成年月日	2009, 04, 01

下水道用硬質塩化ビニル製
 小型マンホール用本管自在継手
 (JSWAS K-1)

略号 **PMF**
 配管記号 



PMF寸法表

単位：mm

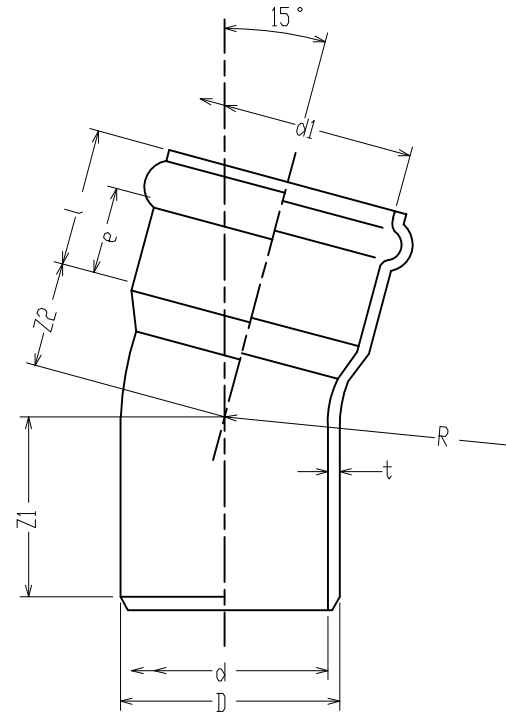
呼び径	D	d (参考値)	d1 (最小値)	l (最大値)	e (最小値)	t	Z (最小値)
150	165±0.5	154	165.7	165	53	5.1+0.8	210
200	216±0.7	202	216.9	185	54	6.5+1.0	240
250	267±0.9	250	268.1	205	59	7.8+1.2	300

- 注) 1. 使用原管はJIS K 6741 (硬質塩化ビニル管) のVU管である。
 2. 平均外径の許容差とは、任意断面における直角2方向以上の外径測定値の平均値(平均外径)と基準寸法との差をいう。
 3. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状については、規定しない。ただし、ゴム輪受口は本管形とする。
 4. 受口内径 d₁ は直角2方向の内径測定値の平均値とする。
 5. 管端面取部寸法及び許容差のないものは参考寸法である。
 6. 角度設定部のゴム輪及び形状は、規定しない。
 6. 用途：本管(曲管)として使用する。

整理番号	1-1-555
作成年月日	2009, 04, 01

下水道用硬質塩化ビニル製
 ゴム輪受口15°曲管
 (JSWAS K-1)

略号 **15SR**
 配管記号 




15SR寸法表

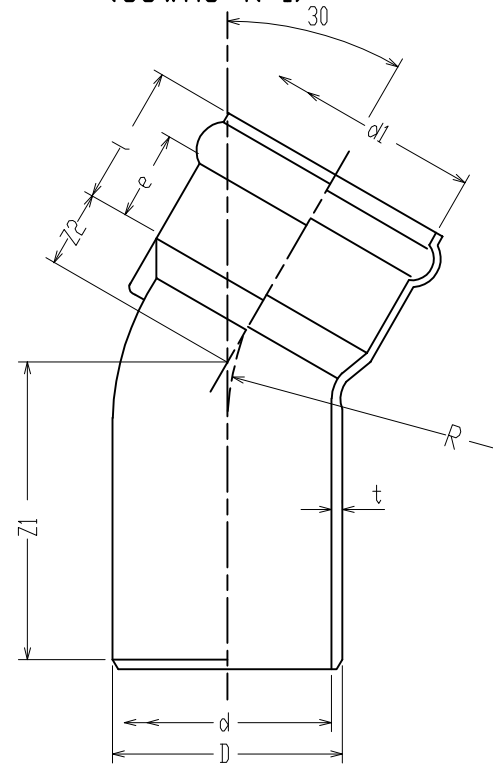
単位：mm

呼び径	D	d (参考値)	d ₁ (最小値)	l (最大値)	e (最小値)	t	Z ₁	Z ₂ (参考値)
100	114±0.4	107	115.0	90	48	3.1+0.8	110±15	5
125	140±0.5	131	141.0	99	53	4.1+0.8	118±15	10
150	165±0.5	154	166.0	108	58	5.1+0.8	129±15	15
200	216±0.7	202	218.0	126	69	6.5+1.0	149±15	25

- 注) 1. 使用原管 J I S K 6741 (硬質塩化ビニル管) の V U 管である。
 2. 平均外径の許容差とは、任意断面における直角2方向以上の外径測定値の平均値(平均外径)と基準寸法との差をいう。
 3. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状については、規定しない。ただし、ゴム輪受口は取付管形とする。
 4. 受口内径 d_1 は直角2方向の内径測定値の平均値とする。
 5. 許容差のないものは参考寸法である。
 6. 面取りの形状は規定しない。
 7. 用途：取付管として使用する。

整理番号	1-1-560
作成年月日	2009, 04, 01

下水道用硬質塩化ビニル製 略号 **30SR**
 ゴム輪受口30°曲管 配管記号 
 (JSWAS K-1)



30SR寸法表


単位：mm

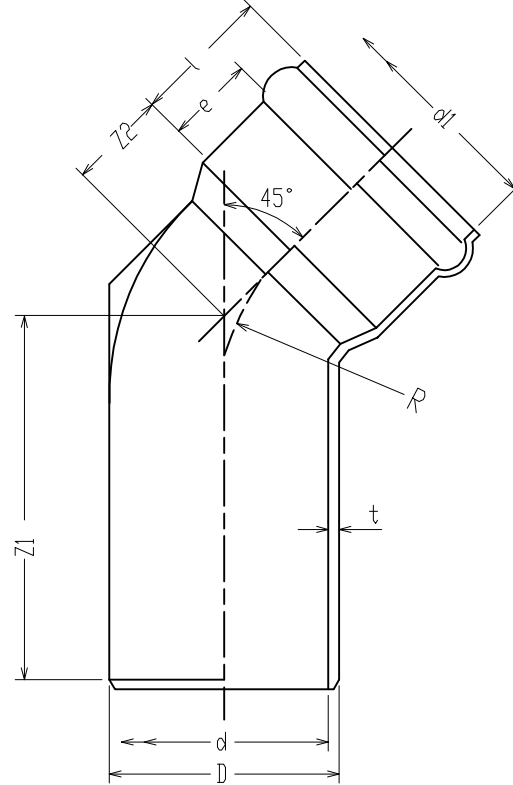
呼び径	D	d (参考値)	d1 (最小値)	l (最大値)	e (最小値)	t	Z1	Z2 (参考値)
100	114±0.4	107	115.0	90	48	3.1+0.8	138±15	5
125	140±0.5	131	141.0	99	53	4.1+0.8	146±15	10
150	165±0.5	154	166.0	108	58	5.1+0.8	159±15	15
200	216±0.7	202	218.0	126	69	6.5+1.0	187±15	25

- 注) 1. 使用原管 J I S K 6741 (硬質塩化ビニル管) の V U 管である。
 2. 平均外径の許容差とは、任意断面における直角2方向以上の外径測定値の平均値(平均外径)と基準寸法との差をいう。
 3. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状については、規定しない。ただし、ゴム輪受口は取付管形とする。
 4. 受口内径 d_1 は直角2方向の内径測定値の平均値とする。
 5. 許容差のないものは参考寸法である。
 6. 面取りの形状は規定しない。
 7. 用途：取付管として使用する。

整理番号	1-1-570
作成年月日	2009, 04, 01

下水道用硬質塩化ビニル製
ゴム輪受口45°曲管
(JSWAS K-1)

略号 **45SR**
配管記号 



45SR寸法表

単位：mm

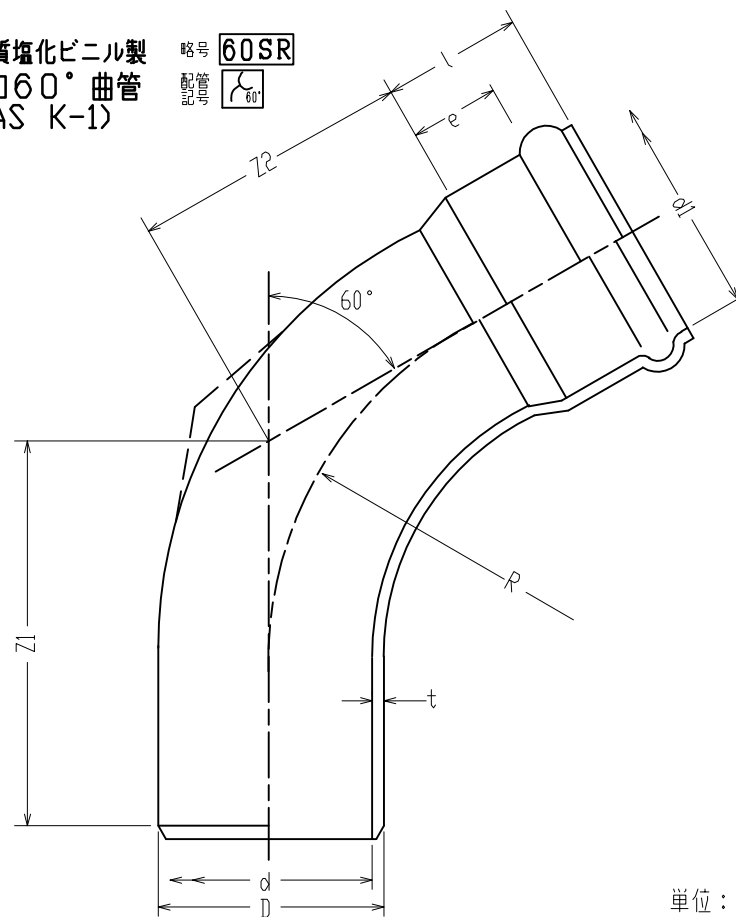
呼び径	D	d (参考値)	d1 (最小値)	l (最大値)	e (最小値)	t	Z1	Z2 (参考値)
100	114±0.4	107	115.0	90	48	3.1+0.8	167±15	35
125	140±0.5	131	141.0	99	53	4.1+0.8	175±15	35
150	165±0.5	154	166.0	108	58	5.1+0.8	191±15	40
200	216±0.7	202	218.0	126	69	6.5+1.0	228±15	55

- 注) 1. 使用原管 J I S K 6741 (硬質塩化ビニル管) の V U 管である。
 2. 平均外径の許容差とは、任意断面における直角2方向以上の外径測定値の平均値(平均外径)と基準寸法との差をいう。
 3. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状については、規定しない。ただし、ゴム輪受口は取付管形とする。
 4. 受口内径 d_1 は直角2方向の内径測定値の平均値とする。
 5. 許容差のないものは参考寸法である。
 6. 面取りの形状は規定しない。
 7. 用途：取付管として使用する。

整理番号	1-1-580
作成年月日	2009, 04, 01

下水道用硬質塩化ビニル製
ゴム輪受口60°曲管
(JSWAS K-1)

略号 **60SR**



60SR寸法表

単位：mm

呼び径	D	d (参考値)	d1 (最小値)	l (最大値)	e (最小値)	t	Z1	Z2 (参考値)
100	114±0.4	107	115.0	90	48	3.1+0.8	199±15	55
125	140±0.5	131	141.0	99	53	4.1+0.8	207±15	55
150	165±0.5	154	166.0	108	58	5.1+0.8	227±15	60
200	216±0.7	202	218.0	126	69	6.5+1.0	274±15	75

注) 1. 使用原管 J I S K 6741 (硬質塩化ビニル管) の V U 管である。

2. 平均外径の許容差とは、任意断面における直角2方向以上の外径測定値の平均値(平均外径)と基準寸法との差をいう。

3. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状については、規定しない。ただし、ゴム輪受口は取付管形とする。

4. 受口内径 d_1 は直角2方向の内径測定値の平均値とする。

5. 許容差のないものは参考寸法である。

6. 面取りの形状は規定しない。

7. 用途：取付管として使用する。

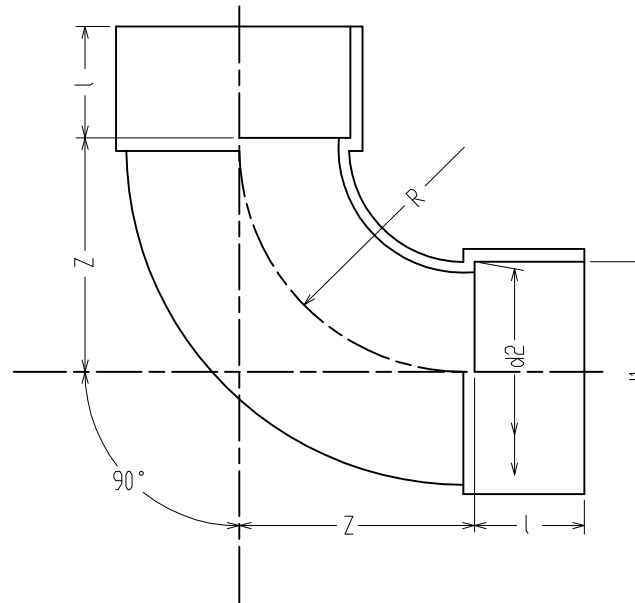
整理番号 1-1-590

作成年月日 2009, 04, 01

下水道用硬質塩化ビニル製
90° 曲管
(JSWAS K-1)

略号 90ST

配管記号 



90ST寸法表

単位：mm

呼び径	d1	d2	R (参考値)	Z	l
100	114.8±0.4	113.2±0.4	128	128±15	50±5
125	140.9±0.4	139.1±0.4	140	140±15	65±5
150	166.1±0.5	163.9±0.5	170	170±15	80±5
200	217.4±0.6	214.6±0.6	196	196±15	115±10
250	268.6±0.6	265.4±0.6	225	225±15	140±10
300	319.8±0.7	316.2±0.7	250	250±15	165±10

注) 1. d2寸法がVU管の近似内径となっているため、JIS K 6739 (排水用硬質塩化ビニル管継手) ではない。

2. 受口内径 d1 及び d2 は直角2方向以上の内径測定値の平均値とする。

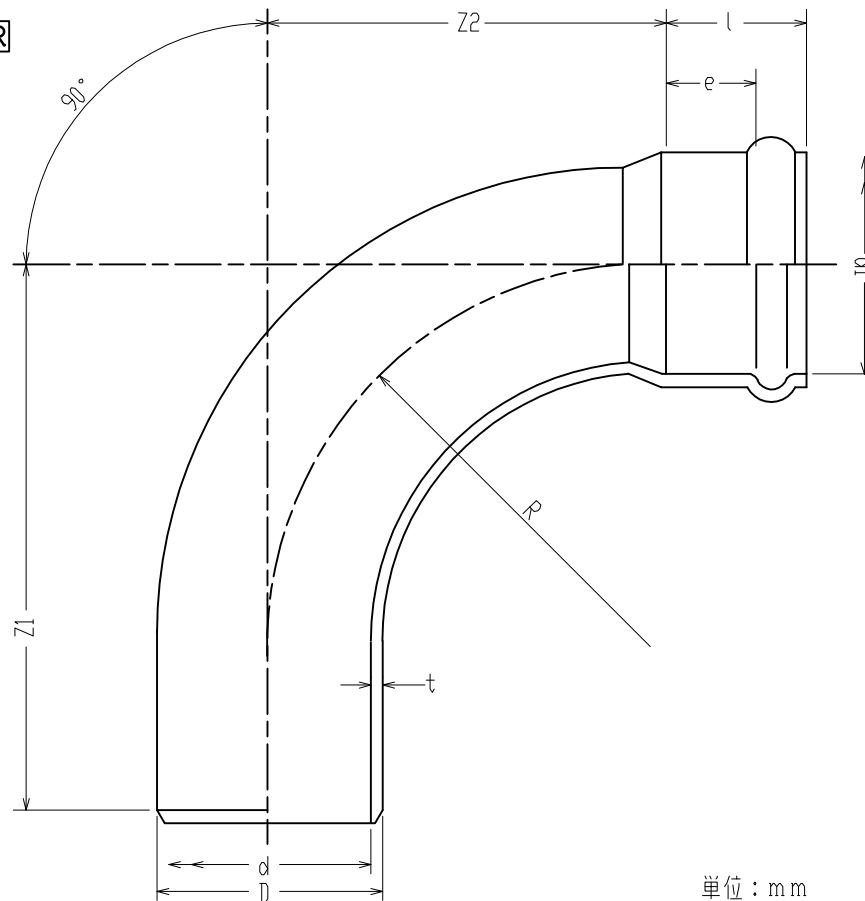
3. 用途：副管の曲がり部用。

整理番号 1-1-600

作成年月日 2009, 04, 01

下水道用硬質塩化ビニル製
ゴム輪受口90°曲管

略号 **90SR**



90SR寸法表

単位：mm

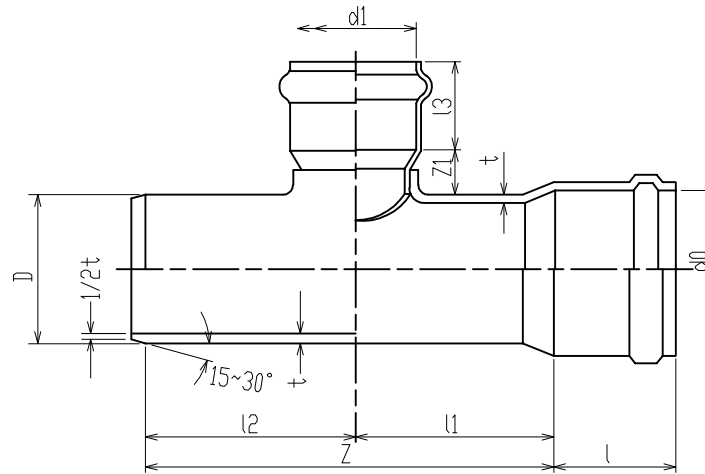
呼び径	D	d (参考値)	d1 (最小値)	l (最大値)	e (最小値)	t	R (参考値)	Z1 (最小値)	Z2 (最小値)
100	114±0.4	107	115.0	90	48	3.1+0.8	100	227±15	105±15
125	140±0.5	131	141.0	99	53	4.1+0.8	150	260±15	192±15
150	165±0.5	154	166.0	108	58	5.1+0.8	220	300±15	252±15
200	216±0.7	202	218.0	126	69	6.5+1.0	150	337±15	166±15

- 注) 1. 使用原管はJIS K 6741 (硬質塩化ビニル管) のVU管である。
 2. 平均外径の許容差とは、任意断面における直角2方向以上の外径測定値の平均値(平均外径)と基準寸法との差をいう。
 3. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状については、規定しない。ただし、ゴム輪受口は取付管形とする。
 4. 受口内径d₁は直角2方向の内径測定値の平均値とする。
 5. 許容差のないものは参考寸法である。
 6. 面取りの形状は規定しない。
 7. 用途：用途：小型人孔(塩ビ製)または汚水樹(塩ビ製)の底抜き用として使用する。

整理番号 1-1-605

作成年月日 2009, 04, 01

下水道用硬質塩化ビニル製
ゴム輪受口枝付き管



(単位：mm)

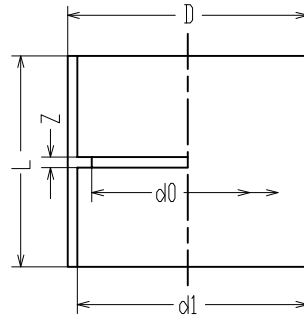
呼 径	Z (参考値)	Z1 (参考値)	D	d0 (最小値)	d1 (最小値)	l (最大値)	l1 (参考値)	l2 (参考値)	l3 (最大値)	t
150×100	1000	55	165.0±0.5	165.7	115.0	165	400	600	90	5.1±0.8
200×150		65	216.0±0.7	216.9	166.0	185			108	6.5±1.0
250×150		65	267.0±0.9	268.1	166.0	205			108	7.8±1.2
200		75			126					

- 注) 1. 使用原管 J I S K 6 7 4 1 (硬質塩化ビニル管) の V U 管である。
 2. 平均外径の許容差とは、任意断面における直角 2 方向以上の外径測定値の平均値(平均外径)と基準寸法との差をいう。
 3. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状については、規定しない。本管のゴム輪受口は本管形、枝管のゴム輪受口は取付管形とする。
 4. 受口内径 d_0 、 d_1 は直角 2 方向の内径測定値の平均値とする。
 5. 許容差のないものは参考寸法である。
 6. 本製品は、受注生産品である。
 7. 用途：この管は、支管取付け位置が予め定まっている場合の分岐管として使用する。
 尚、この管の使用には両受口直管(調整管)を併用して位置の調整を行う。

整理番号	1-1-610
作成年月日	2009, 04, 01

下水道用硬質塩化ビニル製
接着受口カラー
(JSWAS K-1)

略号 **WTB**
配管記号 



WTB寸法表

単位：mm

呼び径	d1	d0 (参考値)	L	Z
100	114±0.4	107	105±10	5±2
125	140±0.5	131	135±10	5±2
150	165±0.5	154	165±10	5±2
200	216±0.7	202	235±20	5±2
250	267±0.9	250	276±20	5±2
300	318±1.0	298	307±20	5±2

- 注) 1. d0寸法がVU管の近似内径となっているため、JIS K 6739 (排水用硬質塩化ビニル管継手) ではない。
 2. 受口内径d1は直角2方向の内径測定値の平均値とする。
 3. 許容差のないものは参考寸法である。
 4. 用途：取付管及び副管接合用。

整理番号	1-1-620
作成年月日	2009, 04, 01